

高浜町内浦地区西部 - ため池・棚田 -



水草の豊富なため池



棚田

選定理由

- ・県レッドデータブック掲載種(県RDB種)(フタスジサナエ、タガメ)の県内唯一の生息地である
- ・県RDB種が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 18種(面積約210ha)

自然の概要

山中の急斜面で、集落の周辺に田畑が開かれています。谷の奥には、ミズユキノシタなど水生植物が生育する古い池があり、フタスジサナエ(トンボ類)、タガメの近年の唯一の生息地となっています。また、森林と水田、畑が接する所では、このような良好な環境を好むサシバなどの猛禽類も生息しています。

保全すべき主な環境

ため池、山田(棚田および休耕地)
小川(山ぎわの水路や水田脇のみぞ)

自然保護関係法の指定

若狭湾国定公園(一部)

もっと詳しく知りたい人へ

福井県のすぐれた自然植物編,p156[内浦湾沿岸の照葉樹林],p160[鎌倉のケヤキ林]
みどりのデータ・バンク総括報告書,p221-223 [内浦湾岸地区]

該当地の位置



里の生き物紹介 フタスジサナエ(トンボ目サナエトンボ科)

体長42~48mmのトンボで、本州~九州に分布しています。県内ではかつて、若狭地方の数か所のため池で見られましたが、幼虫期を泥の中ですごすため、ため池の改修で泥が無くなってしまい、現在では高浜町の一つのため池にしか見られなくなりました。

保全すべき環境に生息・生育している生物



フタスジサナエ
県域絶滅危惧 類
抽水植物が繁茂する池沼や、水田、畦間の溝川に生息



タガメ
県域絶滅危惧 類
山間部のため池や農薬の影響のきわめて少ない水田周辺にのみ生息



イトトリゲモ
県域絶滅危惧 類
貧栄養のため池、水田に生育



ホソバミズヒキモ
県域絶滅危惧 類
ため池、水路



サシバ
県域準絶滅危惧
森林と農耕地が点在する里山に生息